

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

2019年の養鶏産業の課題と対応について、日頃考えていることから海外における養鶏のアニマルウェルフェア(AW)の動向について最近の話題を提供したい。

今は養鶏飼養方法の転換期にあると思う。驚いたことに、2018年11月に米国のカリフォルニア州は住民投票で、採卵鶏は2022年までにケージフリー飼養とする

決めた。米国では多くの小売店・フードサービス・レストラン等がケージフリーで飼育された鶏卵しか購入しないと公表している。USDAの2018年6月6日発表資料によると、2026年に全米の鶏卵生産と消費量の71.8%がケージフリー卵になると予測されている。

現在、米国の採卵鶏の17.7%がケージフリー方式で、残りの82.3%がケージで飼われている。82.3%のケージ飼いの中で、改善ケージ(エンリッチドケージ)普及率は約2〜3%と推測されている。

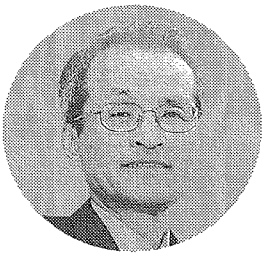
一方、EUの2016年度のケージフリー普及率は25.7%で、採卵鶏の55.6%がエンリッチドケージで飼われているが、米国と同様にケージフリー飼いが増加傾向にある。日本に近い韓国では、採卵鶏の約3%がケージフリーで飼われている。

2018年10月に筆者

は、採卵鶏AWの動向調査のため、関係者と韓国に出張した。調査結果は衝撃的なものであったが、韓国採卵鶏業界が取り組んでいるAWに関して報告したい。

2018年はAWに配慮した画期的な採卵鶏飼養方法に関する法律が実施された年という意味で、韓国採卵鶏業界はAWにおいてアジアで一歩前に進んだと思われる。採卵鶏AW関連法制定は時系列的に次のようになる。

2012年に動物保護法に「AWの畜産農場認証制度」が導入された。そして、2018年6月



に韓国農林水産省はAWを推進するためにAW課(AWチーム)を設けた。同9月に改訂された「畜産法」では、採卵鶏施設設備と単位面積当たりの飼養羽数を規定し、2034年以後に10段ケージ以上の既存建物は使用禁止となり、2026年以後に既存採卵養鶏設備のケージ飼養面積は1羽当たり750平方メートル以上とすることを義務付けた。また、食品医薬品安全省は「畜産物衛生管理法」で、卵殻への農場名表示を2018年4月から、飼養方法番号表示を同8月から、生産日付表示を2019年2月から義務化した。2018

と、AW担当者を置くこ

と、AW獣医法令を作ることにしている。OIE E総会が決めた獣医サービスとして、2018年に韓国農林水産省はAW課(AWチーム)を設けて実行したことになる。

3)・同500平方メートル以上のケージ飼(No.4)に分類され、卵の購入時に採卵鶏飼養方法が

個人的な感想であるが、韓国養鶏協会と鶏卵生産者は飼養方法に関する法律を良く受け入れて、国民一体となって採卵鶏業界の進むべき道を決め、前向きに進んでいて活気を感じることができた。

一方、ブロイラー業界ではAWに配慮した光線管理は避けて通れなくなりつつあり、暗期を欧米並みに増やすことが求められている。ブロイラー

2018年10月2日に開催された平成30年度ブロイラーの飼養管理指針検討委員会に筆者は委員として参加した。検討会では、AWの考え方に対応したブロイラーの飼養管理指針の改訂、チェックリストの改訂、明暗周期に関する技術レター(仮)の作成と配布について検討した。

国際的に持続可能な飼養環境改善と、動物愛護団体に対応するために、国内採卵鶏とブロイラー業界関係者も行政と一緒に、AWの取り組みを一歩前に進めていく必要があると思っている。本年が良い年でありました。

(徳島市国府町矢野4

AWの取り組みを一步前へ

竹内 正博 社長
ISEI 代表取締役

(株) ISEI